

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,500	OKBふれあい会館指定管理者が行う「STRINGS FESTIVAL 2026」への間接補助
合計	2,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略 施策編
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - ① 「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承・発信

(2) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて、ふれあいファシリティズが行う。ふれあいファシリティズは、県有文化施設（OKBふれあい会館）の指定管理者であり、実施主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県県有文化施設等文化芸術振興補助金
補助事業者（団体）	事業実施者（県有文化施設指定管理者） （理由）（一財）地域創造が定める地域の文化・芸術活動助成事業の助成に関する要綱に基づき、事業実施者による県有文化施設での文化・芸術活動等の事業に助成される場合、県から事業実施者に間接的助成を行う。
補助事業の概要	（目的）県有文化施設の活用推進と自主事業の企画制作能力の向上 （内容）（一財）地域創造が定める地域の文化・芸術活動助成事業の助成に関する要綱に基づき、岐阜県県有文化施設等文化芸術振興補助金交付要綱により交付。
補助率・補助単価等	その他 （内容）（一財）地域創造からの助成金相当額を補助
補助効果	県有文化施設の活用推進と自主事業の企画制作能力の向上が図られる。
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 誇りあるふるさとづくりの推進を目指し、県有文化施設の活用推進、自主事業の企画制作能力の向上を図る。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	0	2,836	3,787

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 金子三勇士ショパンvsリスト&亀井聖矢ピアノ・リサイタル及び愛好家によるコンサートを上演。 県下への音楽文化の発信拠点として事業を展開しているサラマンカホールが、本事業を契機にさらなる広域的展開をめざし、地域の音楽文化の高まりを醸成することができた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 サラマンカホール・プロデュースオペラ モーツァルト「魔笛」を上演。 県下への音楽文化の発信拠点として事業を展開しているサラマンカホールが、本事業を契機にさらなる広域的展開をめざし、地域の音楽文化の高まりを醸成することができた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 新作！舞踊「関ヶ原」を上演。 県下への音楽文化の発信拠点として事業を展開しているサラマンカホールが、本事業を契機にさらなる広域的展開をめざし、地域の音楽文化の高まりを醸成することができた。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	本予算措置がなければ、県有文化施設の文化事業に係る(一財)地域創造からの助成を受けることができないため、予算措置が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	本予算措置がなければ、県有文化施設の文化事業に係る(一財)地域創造からの助成を受けることができないため、本補助金により実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 (一財)地域創造の助成金を有効に活用し、県有文化施設の利活用を促進するため、今後も引き続き一般指定管理者等の当該助成金申請を促すことが必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県有文化施設の利活用を推進するとともに、施設が地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援し、事業コンテンツの質を高める意味で、今後も継続的に事業を実施する。
